

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 **新**ほっと一息、ぎふの旅キャンペーン事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111(内 3075)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 132,700 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	132,700	0	0	0	0	0	0	0	132,700
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、外国人観光客は減少し、国内観光客も外出を自粛するなど、県内の観光事業者はこれまで経験したことのない非常に厳しい状況にある。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症により、海外からの観光客が見込めない中、感染症対策を徹底しながら、近隣の居住者等を対象とした宿泊促進キャンペーンを早期に実施することで宿泊需要を創出し、観光産業全体の底上げを図る。また、夏休み期間中に「岐阜マナビ旅」企画を実施する。

(2) 事業内容

① 宿泊促進キャンペーン事業 (90,000 千円)

県内宿泊施設等の感染症対策をPRするとともに、宿泊需要を喚起する「ほっと一息、ぎふの旅キャンペーン」の一環として、旅行会社による宿泊割引等を実施する。

② 「岐阜マナビ旅」造成・販売事業 (42,700 千円)

旅行会社が、県内の小学生が家族で県内を旅行しながら、さまざまな体験を通じて岐阜県の魅力を知ってもらう旅行商品の造成・販売を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県全域にまたがる国内誘客の推進は県の事業であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	132,700	①旅行会社による宿泊割引 ②「岐阜マナビ旅」の造成・販売
合計	132,700	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

(2) 国・他県の状況

R 2年度 GOTO トラベル事業を実施。他県も上乘せ補助等を実施。

R 3年度については、他県とも対応を検討中。

(3) 後年度の財政負担

閑散期における緊急的なコロナ対策であることから、後年度の財政負担はない。

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	ほっと一息、ぎふの旅キャンペーン事業費補助金
補助事業者（団体）	（一社）岐阜県観光連盟
補助事業の概要	<p>（目的）岐阜県観光連盟が実施する宿泊割引及び商品造成を支援する。</p> <p>（内容）</p> <p>①旅行会社が県内宿泊施設の宿泊割引を実施</p> <p>②旅行会社が小中学生とその家族を対象として「岐阜マナビ旅」商品を企画・販売</p>
補助率・補助単価等	<p>定額・定率・その他（例：人件費相当額）</p> <p>①宿泊促進キャンペーン事業</p> <p>②「岐阜マナビ旅」造成・販売事業</p>
補助効果	岐阜県観光消費額の増大
終期の設定	終期 令和3年度

（事業目標）

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>新型コロナウイルスにより落ち込んだ観光産業の速やかな回復を図る。</p>
--

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
① 観光入込客数	4,603万人	4,600万人	4,900万人
② 観光消費額	4,172億円	5,000億円	3,300億円

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	千円	千円	千円	(予算額) 千円	(要求額) 132,700千円
指標①目標					4,900万人
指標①実績				(推計値)	(推計値)
指標①達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %
指標②目標					3,300億円
指標②実績				(推計値)	(推計値)
指標②達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い
(評価) 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う県内観光事業者支援である。 ○
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない
(評価) —
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある
(評価) 効率的に事業を実施できるスキームとしている。 ○

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止 (理由)
